

八点

② 揺らぎなき大地ありけり赤とんぼ 増田 守

六点

① 百選てふ湧水汲めり薄紅葉 藤本 友子

① 列島の壊れしままに月わたる 増田 守

五点

半襟の白光りをり秋うらら 岩野ヤエ子

荒れはててなほ門構へ月煌々 恩田 才美

義経無念北上川の秋入日 藤崎安紀子

四点

③ 潔よく死ねるものかよ秋時雨 京林 眞壽

② 散骨の欠片集めし星月夜 松浦かほる

① しなやかな余生覚ほゆ秋日和 桜井 幸枝

① やはらかな子を抱き替へて秋桜 恩田 才美

術後の日々目を閉じおれば秋の声 藤崎安紀子
冬仕度促す如く風の声 平野 邦子

三点

① 立秋や番茶たつぷり備前焼 辻 幸子

① 胃を切りて痛みの過呼吸秋の月 京林 眞壽

① やはらかな日差しに匂ふ秋さうび 辻 幸子

「描いてよ」と画布に止まるや秋茜 岩野ヤエ子
晩秋の中仙道や紋瓦 稲葉 幸

二点

② 秋夕焼かぼそき母のわらべうた 藤崎安紀子

① こほろぎの輪唱止まず更くる夜半 桜井 幸枝

① ひさかたの子の大眠り在祭 松浦かほる

① 秋気澄むドライアイスの白き気化 古野 明美

稲の秋開発進むニュータウン 辻 幸子

北山杉の見上げて更に天高し 柏尾のり子

古民家や新蕎麦の湯気満つる土間 岩野ヤエ子

秋澄めり洞の奥なる仏まで 藤本 友子

越しかねし山門内の秋の蛇 柏尾のり子

あの世まで二人の秘密紅葉 京林 眞壽

(以下 省略)